

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●根本康広調教師がJRA通算200勝を達成

9月18日(祝・月)の4回中山5日・第8レースではヨリノサファイヤが1着となり、同馬を管理する根本康広調教師(美浦)は、現役106人目となるJRA通算200勝(延べ5772頭目)を達成しました。

### ●浅野洋一郎調教師が勇退

浅野洋一郎調教師(美浦)が9月20日(水)付で勇退しました。JRA通算成績は5204戦240勝でした。

### ●3歳以上・芝1800mの中央競馬レコードタイム更新

9月17日(日)の4回阪神4日・第11レースとして行われた関西テレビ放送賞ローズS(GⅡ)では、マスクトディーヴァ(牝3歳/栗東・辻野泰之厩舎)が1分43秒0のタイムで優勝しました。これは2021年毎日杯(GⅢ)でシャフリヤールが記録した1分43秒9を更新するコースレコードであるとともに、2021年に小倉競馬場の3歳未勝利戦でエスコラが記録した1分43秒8も更新する、3歳以上・芝1800mの中央競馬レコードタイムとなります。

### ●ウエルドーンの競走馬登録抹消

2021年関東オークス(川崎・JpnⅡ)の勝ち馬ウエルドーン(牝5歳/栗東・角田晃一厩舎/JRA通算13戦3勝・地方5戦1勝)は、7月11日(火)に競走馬登録を抹消されました。同馬は北海道日高町の浜本牧場で繁殖馬となる予定です。

### ●スティンガーが死亡

9月21日(木)、北海道日高町の社台ブルーグラスファームに繋養されていたスティンガー(牝27歳)が、老衰のため死亡しました。1998年阪神3歳牝馬S(GⅠ、現在の阪神ジュベナイルフィリーズ)を制して同年のJRA賞最優秀3歳牝馬(当時)を受賞した同馬は、JRA通算21戦7勝の成績を残して引退、繁殖入り。産駒には谷川岳S勝ち馬サトノギャラント、NHKマイルC3着のキングズオブザサンなどがいます。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●オーバルスプリント(浦和)でドライスタウトが人気に応える

オーバルスプリント(JpnⅢ、9月20日、浦和、1400m)は、3番手を進んだドライスタウト(戸崎圭太騎手、牡4歳、父シニスターミニスター)が先に抜け出した2番人気のスマイルウィ(船橋)を残り50%で捉え、単勝1.6倍の支持に応えました。3番人気のオーロラテソーロが3着に入り、逃げたラプタスは6着、テイエムサウサンは8着に敗れています。

### ●武豊騎手がゴールデンジョッキーC(園田)に優勝

9月14日に園田で全国から通算2000勝以上の騎手を集め、3レースのポイント制で争われたゴールデンジョッキーCは、武豊騎手(栗東)が同点ながら最上位着順の差で優勝。横山典弘騎手(美浦)は第4位、戸崎圭太騎手(美浦)は第6位でした。

### ●ヒーローコール(浦和)が戸塚記念を圧勝【各地の主要3歳重賞】

戸塚記念(9月14日、川崎、2100m)は、2番手から2周目3コーナー手前で抜け出した単勝1.4倍で圧倒的人気のヒーローコール(牡、父ホッコータルマエ)が6馬身差の圧勝を収めています。

### ●9月27日の日本テレビ盃(船橋)にウシュバテソーロが登場

日本テレビ盃(JpnⅡ、9月27日、船橋、1800m)は、ドバイワールドC優勝以来となるウシュバテソーロが中心、以下セキフウ、ミトノオー、テンカハルの順に有力視されます。

### ●ウィルソンテソーロらが参戦、9月26日の白山大賞典(金沢)

白山大賞典(JpnⅢ、9月26日、金沢、2100m)は、JpnⅢを連勝中のウィルソンテソーロが最有力、昨年の覇者ケイアイパープルが続ぎ、メイショウフンジン、ベイシャエス、ゴライコウまでが争覇圏内と考えられます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1英セントレジャー〜ハーツクライ産駒コンティニューアスが制す

英三冠の最終戦にあたるG1英セントレジャー(3歳牡牝、芝2910m)が現地9月16日にドンカスター競馬場で行われ、ハーツクライ産駒の日本産馬コンティニューアス(牡3歳)が後方待機から直線で力強く抜け出して優勝しました。重馬場の勝ちタイムは3分6秒95。2馬身3/4差の2着にG3ジェフリーフリーアスを勝って臨んだアレスト。英国王夫妻が所有するG3ゴードンS勝ち馬デザートヒーローは3着に終わりました。勝ったコンティニューアスはクールモアが母であるフラップを日本に送り、ハーツクライと交配させたことで誕生。昨年はG3トーマスブライアン賞(芝1600m)を含む2戦2勝で終わりました。今年は5月のG2ダンテS3着、6月のG1仏ダービー8着、G2キングエドワードVII世S2着と3連敗となっていました。前走8月のG2グレートヴォルティジュールS(芝2370m)を3馬身3/4差で完勝していました。日本産馬による英クラシック制覇は2018年のG1英2000ギニーを制したサクソウオリアー(コンティニューアスのいとこ)、2021年のG1英オークスを制したスノーフォールに続く3頭目です。管理するA.オブライエン調教師はこのレース7勝目、R.ムーア騎手は3勝目となりました。